

東北中央自動車道(福島大笹生～米沢北間)
開通による地域経済(観光・産業など)への
効果について



山形河川国道事務所

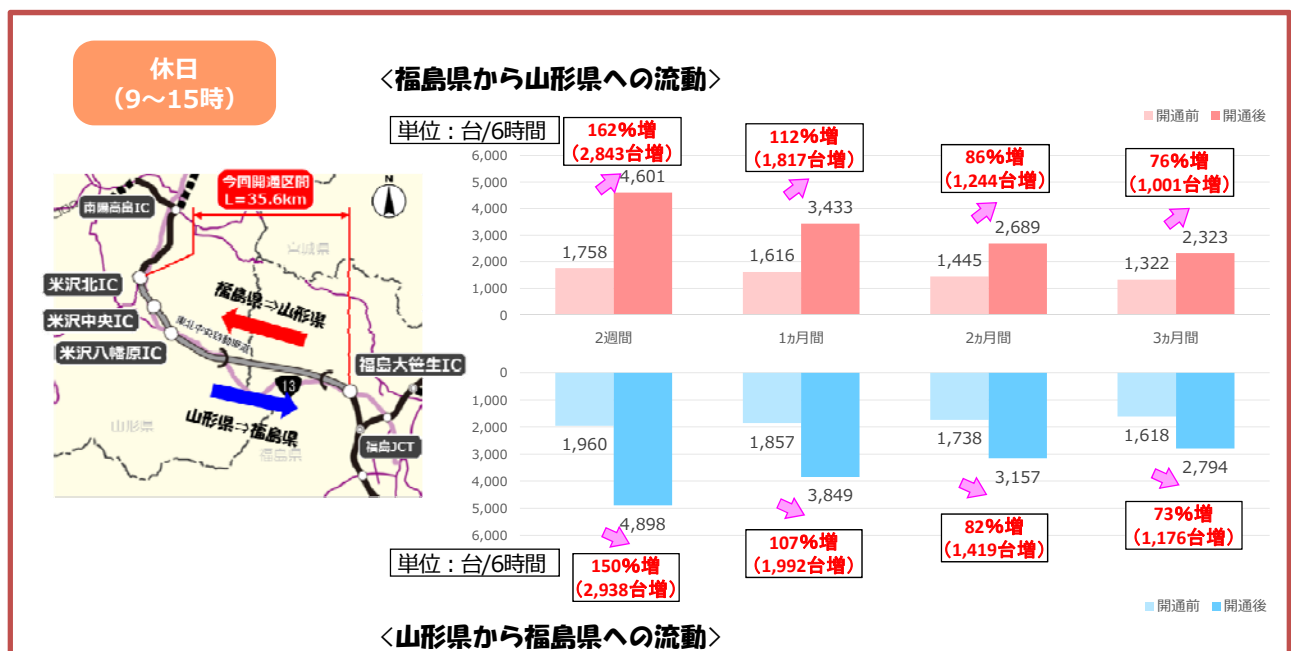
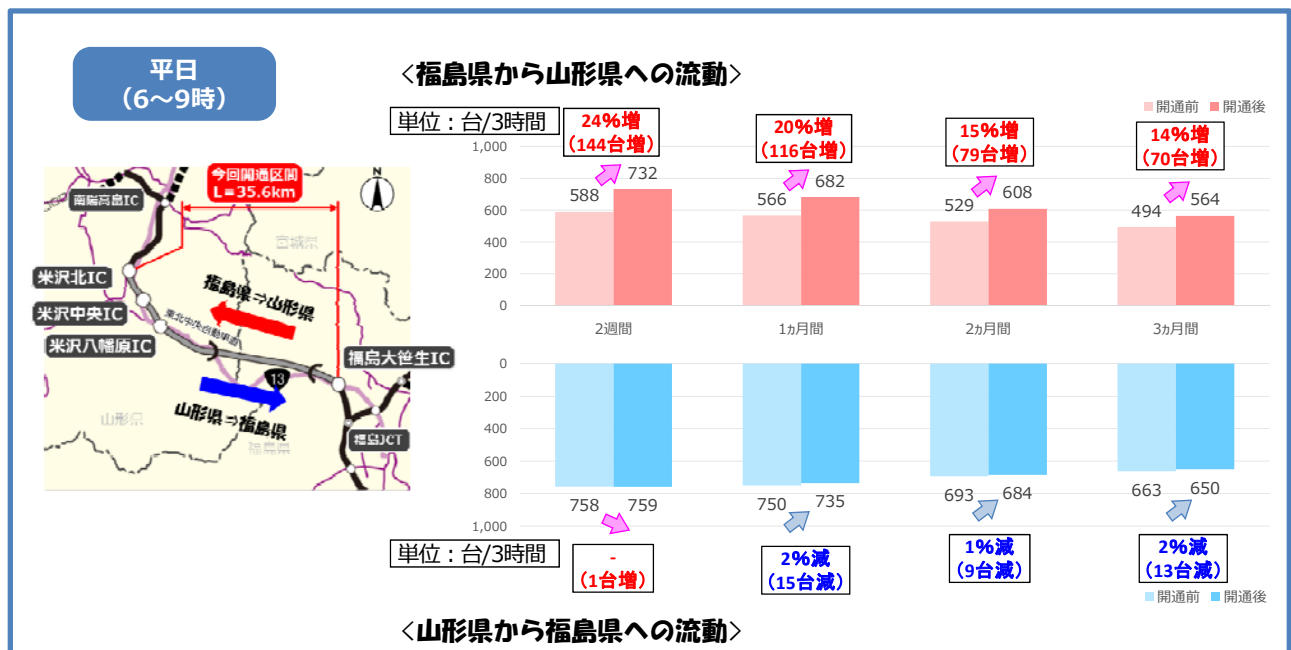
1. 開通効果項目について

- ・山形県・福島県間の交流が拡大(平日1割増、休日7割増)
- ・東北中央道利用で山形県へ！！～来訪者数の増加～
- ・沿線地域の広域範囲で来訪者が増加
- ・長期滞在(2泊以上)宿泊者の割合が増加
- ・来訪者の滞在時間が増加
- ・冬のやまがた雪祭り(置賜地域の入り込み状況)
- ・置賜地域冬のイベント入り込み客の状況
- ・遠方からの来訪割合が増加
- ・物流企業への効果
- ・東北中央道沿線工業団地への企業立地

山形県・福島県間の交流が拡大（平日 1 割増、休日 7 割増）

- 「平日の6～9時」の時間帯は、福島県から山形県への流動が約1割増。山形県から福島県への流動は大きな変化なし。（福島県⇒山形県14%増）
- 「休日の9～15時」の時間帯は、福島県と山形県の相互交流が約7割増。（福島県⇒山形県76%増、山形県⇒福島県73%増）

■東北中央道開通に伴う山形県～福島県の流動の変化



出典：トヨタックカウンターデータ（対象日の「国道13号と東北中央道の合計交通量」の平均値を使用）

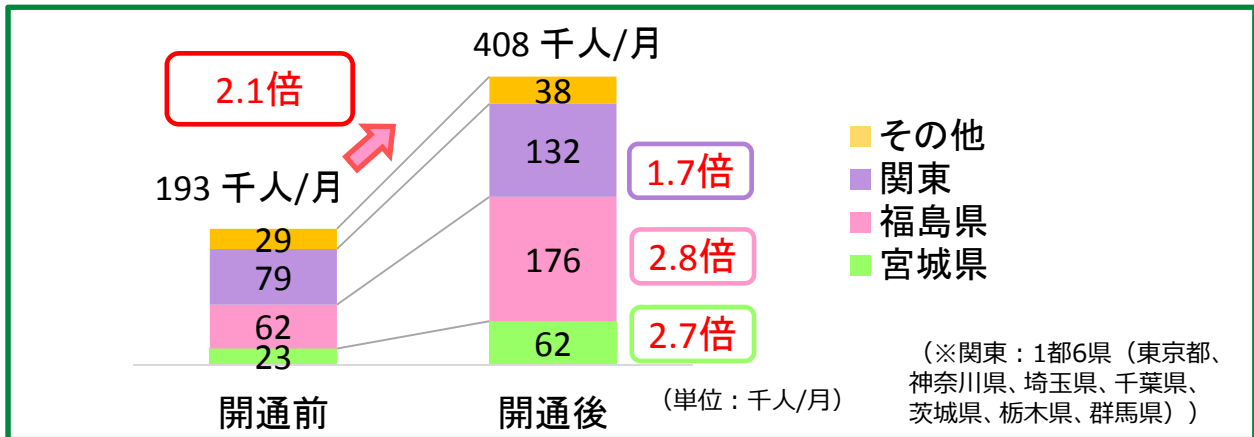
◆2週間（開通前：H28.11.6(月)～H28.11.19(日)、開通後：H29.11.5(月)～H29.11.18(日)） ◆1ヵ月（開通前：H28.11.6(月)～H28.12.5(日)、開通後：H29.11.5(月)～H29.12.4(月)）

◆2ヵ月（開通前：H28.11.6(月)～H29.1.5(木)、開通後：H29.11.5(月)～H30.1.4(木)） ◆3ヵ月（開通前：H28.11.6(月)～H29.2.5(日)、開通後：H29.11.5(月)～H30.2.4(日)）

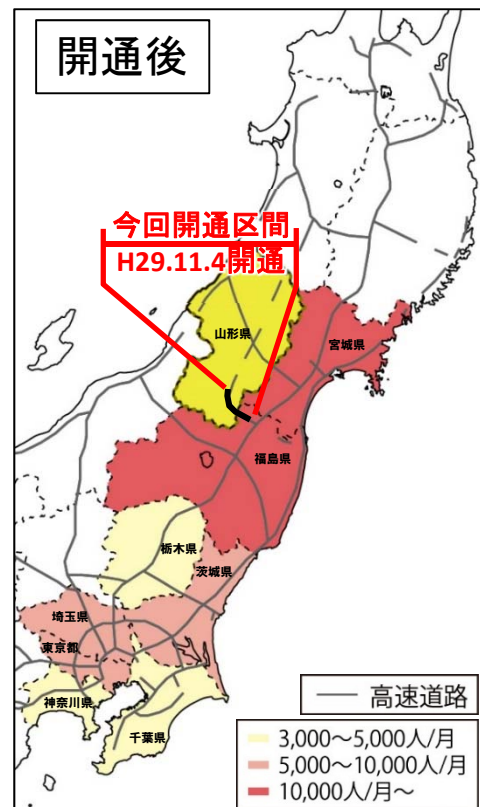
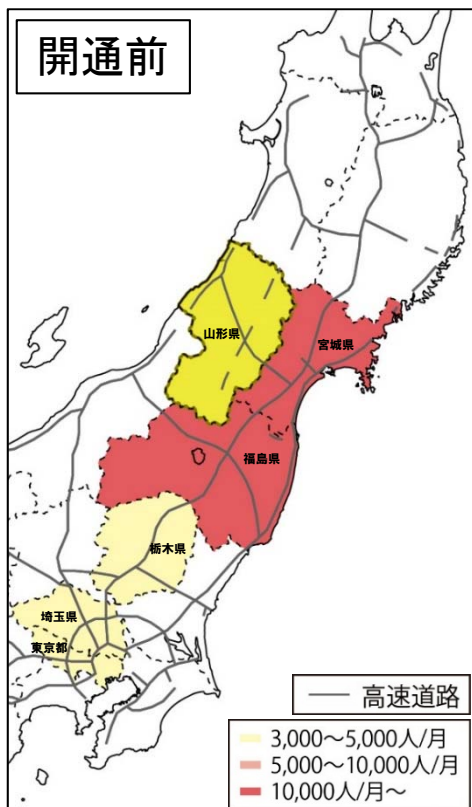
東北中央道利用で山形県へ！！ ～来訪者数の増加～

- 東北中央道・国道13号経由での、山形県への総来訪者が**2.1倍**に増加。
(総来訪者数：+21万人/月)
- 宮城県からは**2.7倍**、福島県からは**2.8倍**、関東からは**1.7倍**増加し、来訪圏域も拡大。
(宮城県：+3.9万人/月、福島県：+11.4万人/月、関東：+5.3万人/月)

■ 東北中央道を利用した山形県来訪者数の変化



■ 山形県来訪者数の変化（居住地別）



開通前：H28.11～H29.1月
開通後：H29.11～H30.1月

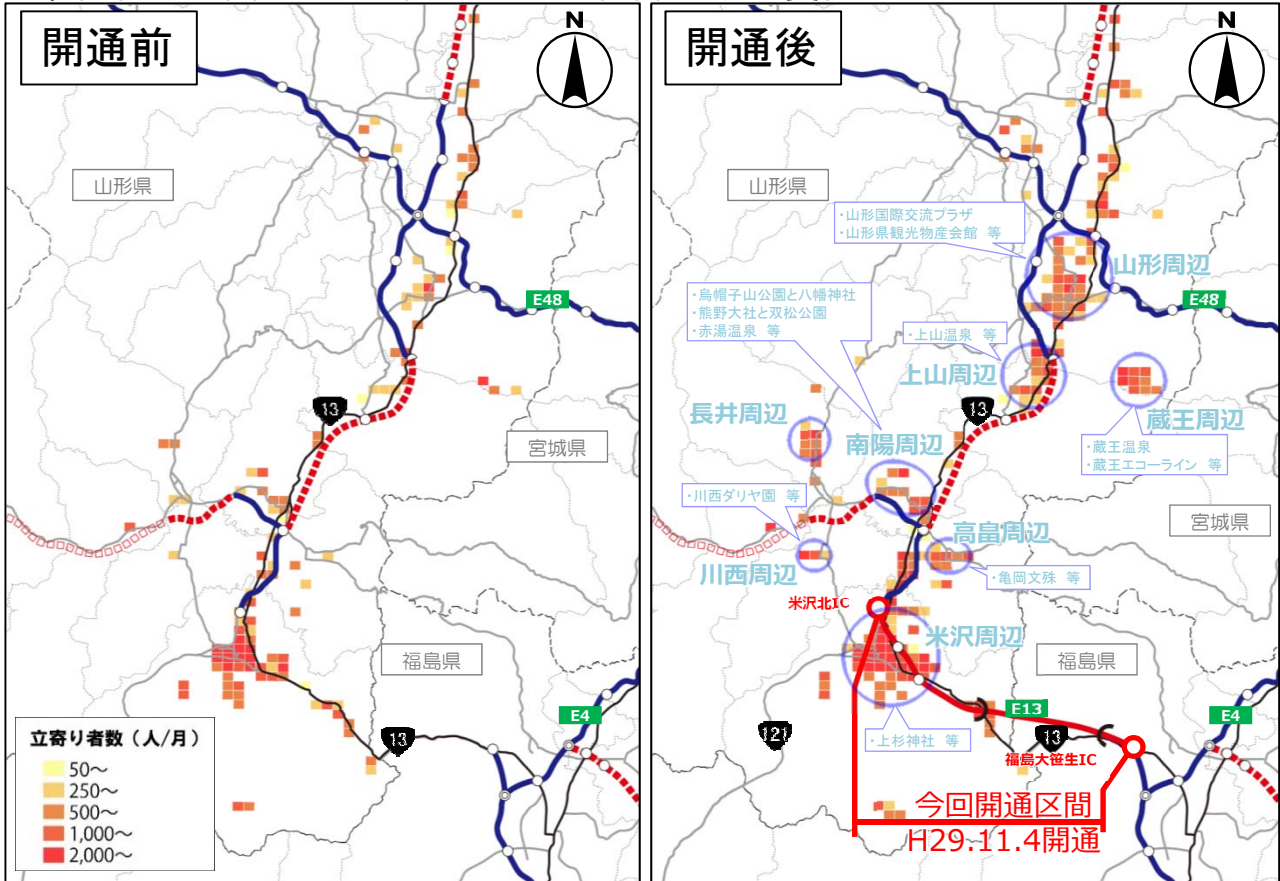
出典：「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

※「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測定されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

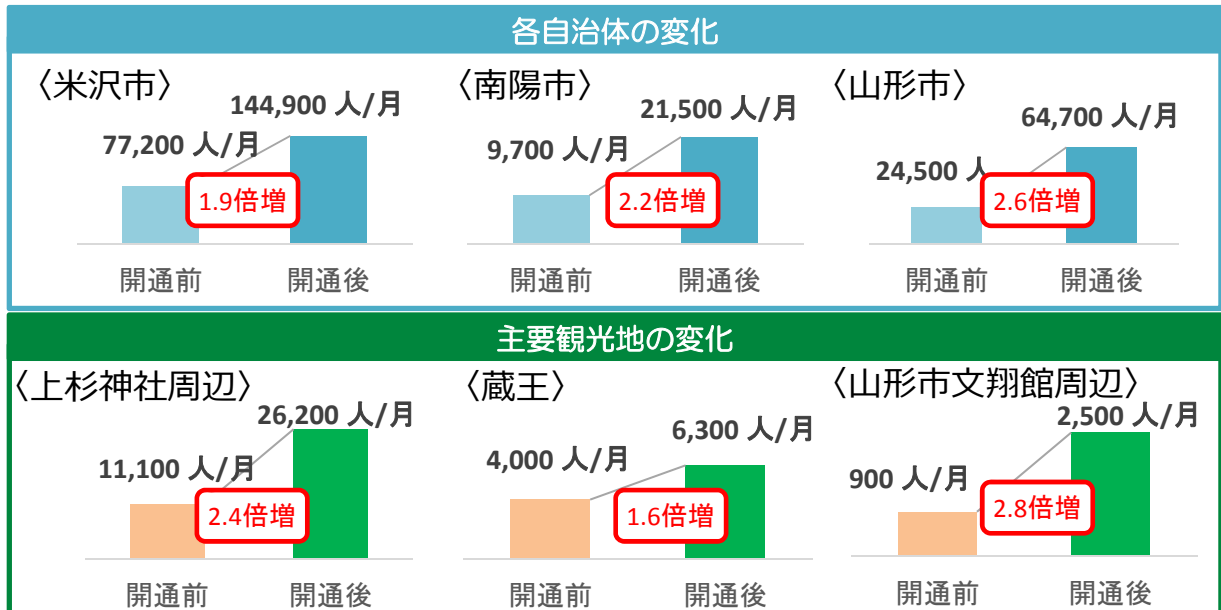
沿線地域の広域範囲で来訪者が増加

- 東北中央道・国道13号経由での山形県への来訪者数は、米沢市で**1.9倍増加**、南陽市で**2.2倍増加**。（米沢市：**+6.7万人/月**、南陽市：**+1.1万人/月**）
- また、村山地域の山形市で**2.6倍増加**しており、沿線地域の広域的範囲まで来訪者が増加している。（山形市：**+4万人/月**）

■東北中央道・国道13号を利用した山形県来訪者数の変化



■東北中央道・国道13号を利用した来訪人数の変化



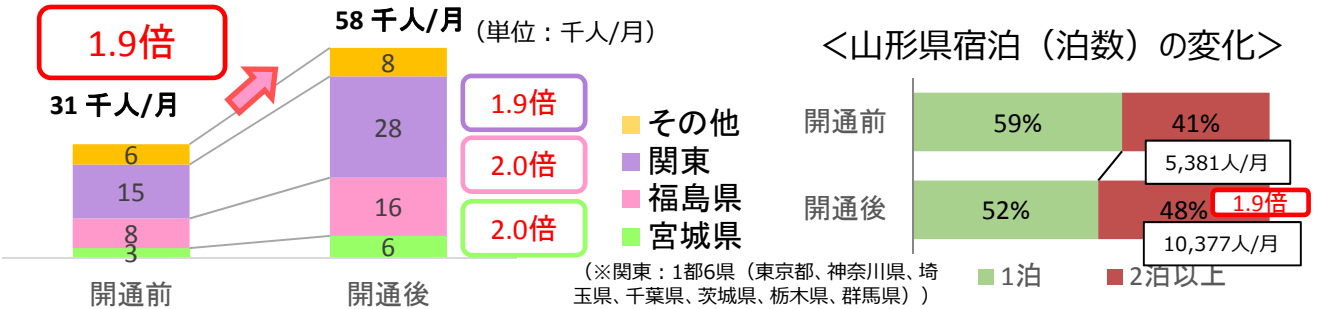
開通前：H28.11～H29.1月、開通後：H29.11～H30.1月

出典：「混雑統計」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

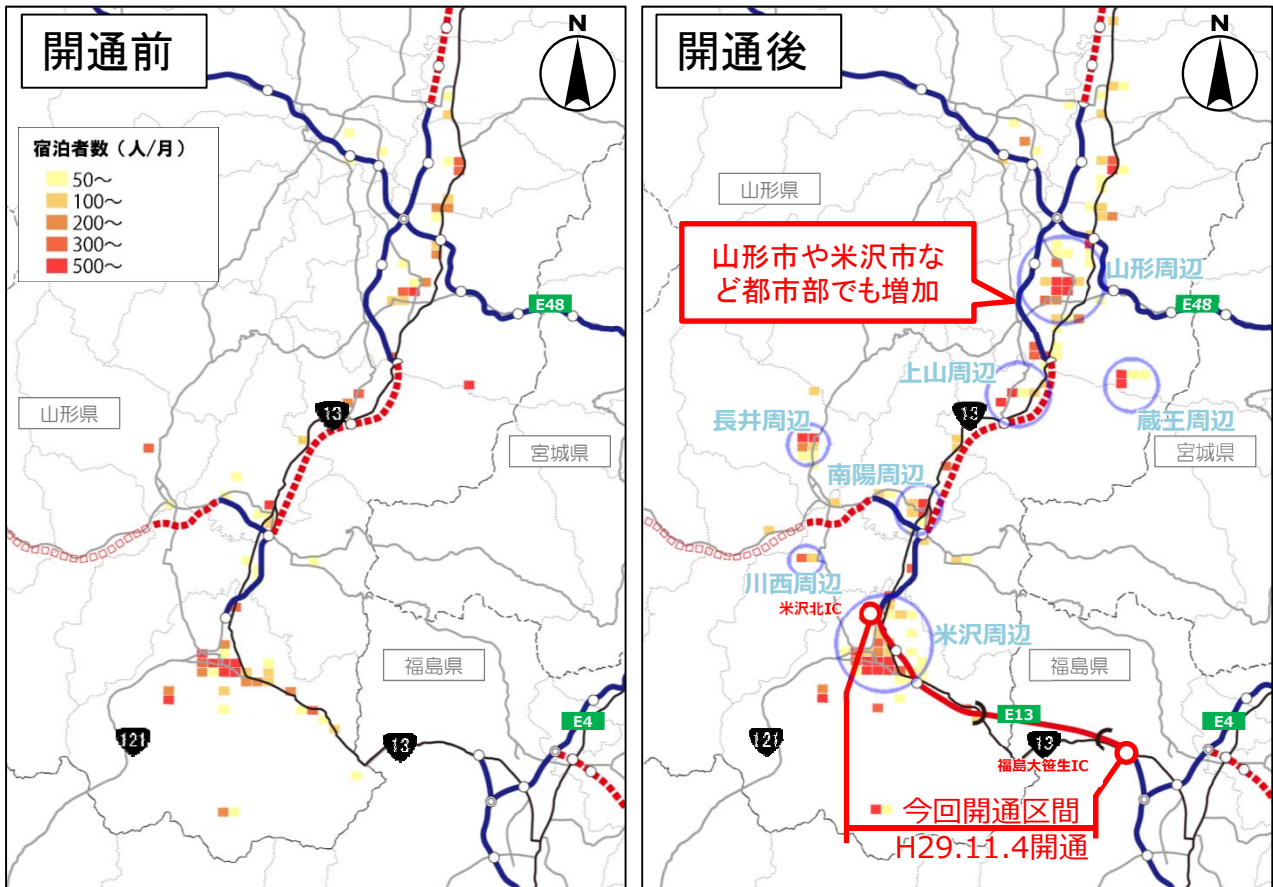
長期滞在（2泊以上）宿泊者の割合が増加

- 東北中央道・国道13号経由での山形県への宿泊者は**1.9倍**に増加、宿泊者のうち2泊以上の長期で滞在する割合が**1.9倍**に増加。（総宿泊者数：**+2.6千人/月**）（2泊以上：**+5千人/月**）
- 赤湯温泉や上山温泉・蔵王温泉の県内主要温泉地の宿泊者も**2.2~3.3倍**増加。
（赤湯温泉：**+1.5千人/月**、上山温泉：**+0.9千人/月**、蔵王温泉：**+0.7千人/月**）

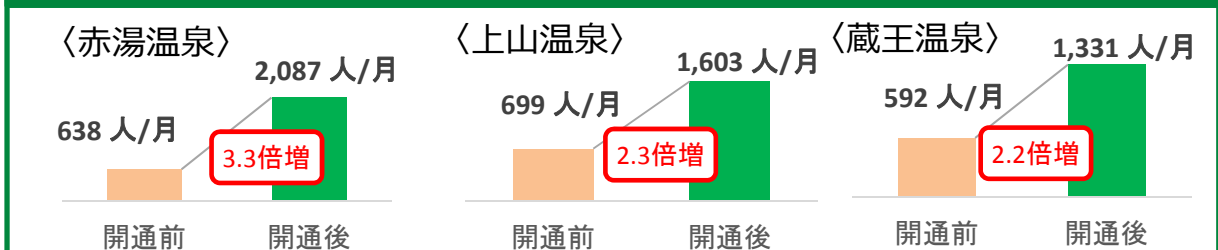
■ 東北中央道・国道13号を利用した山形県宿泊者数の変化



■ 東北中央道・国道13号を利用した山形県宿泊エリアの変化



主要観光地の宿泊者の変化



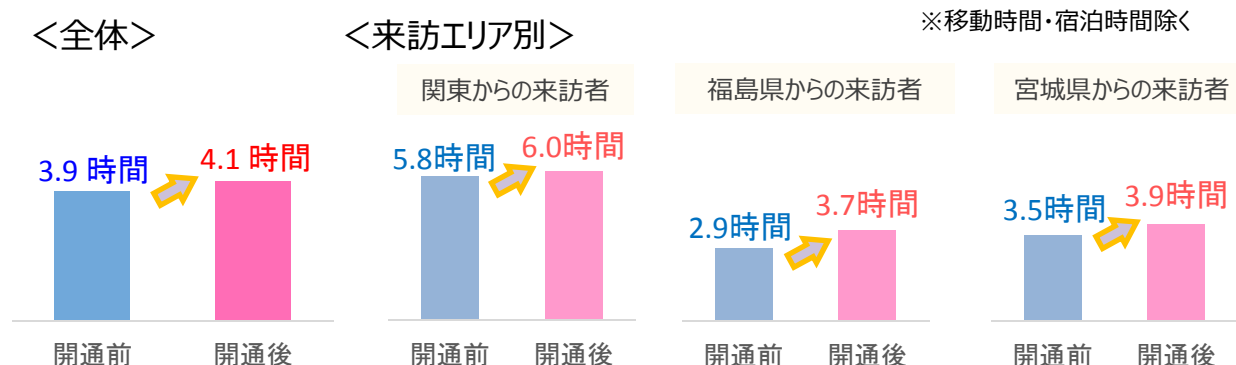
開通前：H28.11～H29.1月、開通後：H29.11～H30.1月

出典：「混雑統計」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

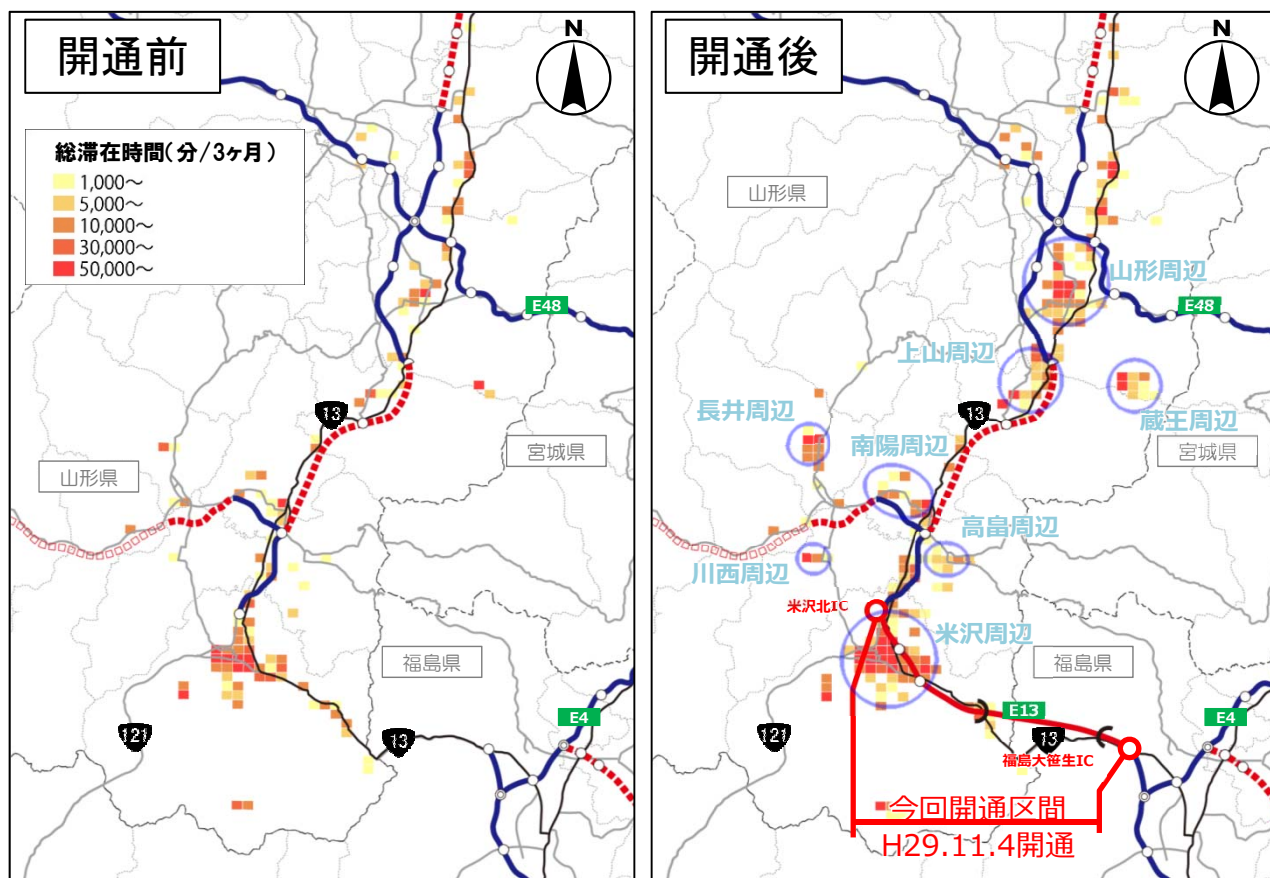
来訪者の滞在時間が増加

- 東北中央道・国道13号経由での、山形県来訪者の県内平均滞在時間が約1割増加。
- 関東や宮城県からの来訪者の平均滞在時間は約1割増加、福島県からの来訪者の平均滞在時間が約3割増加。
(関東: +0.2時間、福島県: +0.8時間、宮城県: +0.4時間)
- 置賜地域に加え、村山地域の山形市や上山市、沿線から離れた蔵王周辺でも滞在時間が増加。

■東北中央道・国道13号を利用した山形県内平均滞在時間※の変化（一人当たり）



■東北中央道・国道13号を利用した山形県内エリア別滞在時間の変化



開通前：H28.11～H29.1月
開通後：H29.11～H30.1月

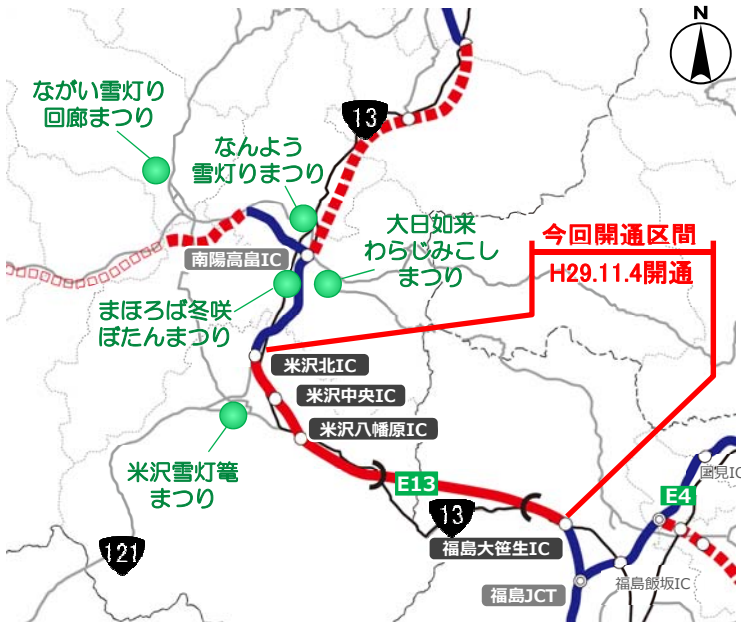
出典：「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

※「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測定されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

冬のやまがた雪祭り（置賜地域の入込み状況）

● 山形県置賜地域の各所で冬のイベントが開催され、多くのイベントで昨年に比べて観光入込客数が増加

■ 置賜地域の冬期イベントの観光入込客数の変化



ながい雪灯り回廊まつり（長井市） 【開催日】2/3（土）

6,700人 7,000人

4%増

開通前
(H29)
天候：晴

開通後
(H30)
天候：晴



まほろば冬咲ぼたんまつり（高畠町） 【開催期間】2/9（金）～2/10（土）

16,500人 18,000人

9%増

開通前
(H29)
天候：曇・雪

開通後
(H30)
天候：曇・雪



上杉雪灯籠まつり（米沢市）※ 【開催期間】2/10（土）～2/12（月）

185,000人 224,000人

21%増

開通前
(H29)
天候：雪

開通後
(H30)
天候：曇・雪



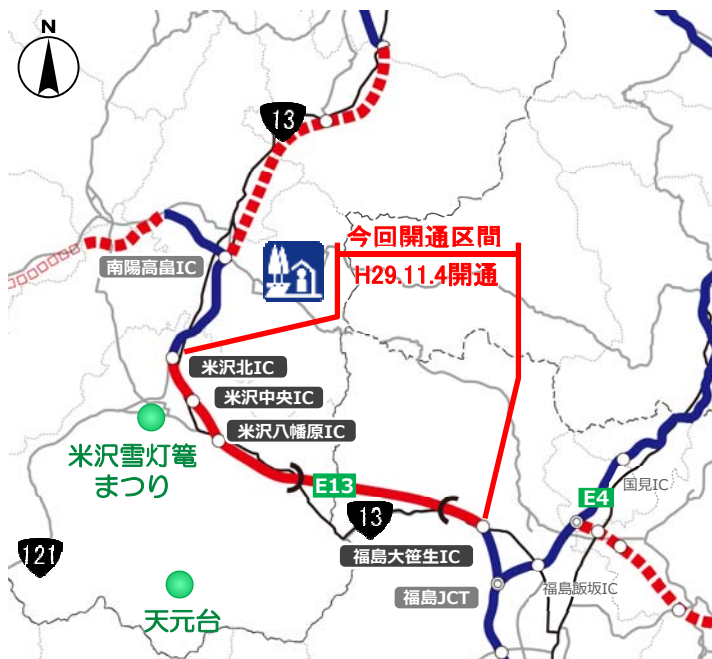
※H29は2日間の開催、H30は3日間の開催

資料：各市町提供資料

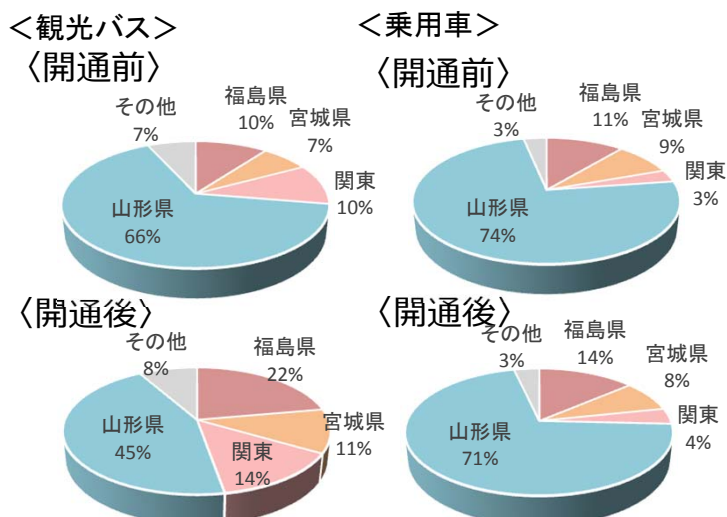
遠方からの来訪割合が増加

- 上杉雪灯籠祭りでは、東北中央道開通記念として平成30年は開催日を1日延長し開催。
- 福島県や宮城県、関東方面からの来訪割合が増大。(観光バス: +20%、乗用車: +3%)
- 天元台においても、関東からの来訪割合が増大。(関東: +17%)

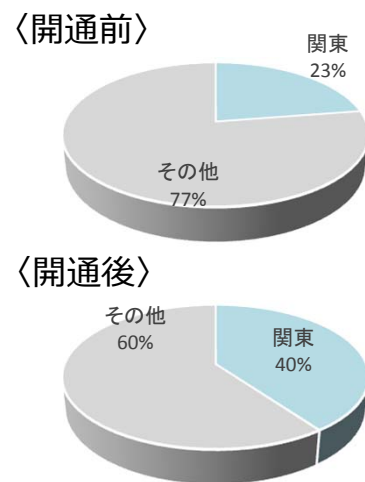
■ 冬期観光地、イベントへの来訪状況の変化



来訪状況の変化(上杉雪灯籠まつり)



来訪状況の変化(天元台)



※雪灯籠祭り指定駐車場の駐車車両のナンバープレート(車籍地)を整理
 開通前: H29.2.11(土)、開通後: H30.2.10(土)
 資料: ナンバープレート調査

開通前: H29.1.7(土)、開通後: H30.1.6(土)
 資料: H30提供資料



・高速道路ができたと友人に聞いて、雪灯籠まつりにはじめてきてみました。以前は一般道でしか移動出来ずに米沢は遠いイメージしかなかったが、今回東北中央自動車道が出来て一気に近くなった気がします。(東京都 50代男性)



資料: 上杉雪灯籠まつり来訪者ヒアリング (H30.2)

物流企業への効果

- 搬送ルートを変更することで搬送時間が短縮し、労働環境が改善された。
- また、勾配が緩やかになりチェーンを巻かずに搬送が可能となったことから、不良品発生削減に寄与している。

■ 北東北方面への搬送

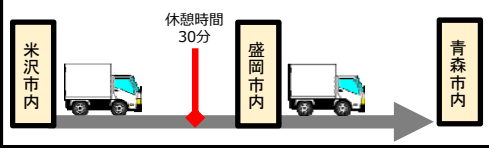
米沢の物流事業者①の声

- ・山形道経由から中央道経由にルートを変更し、盛岡まで4時間※となり、**ドライバーが休憩をとらずに到着することが可能**となりました。



写真：米沢八幡原IC方面へ向かう物流車両

■ 山形道ルート



■ 東北中央道ルート



※「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(H27.9より改正)により、トラック運転者は4時間以内又は4時間経過直後に運転を中断して30分以上の休憩を確保することが定められています。

■ 首都圏方面からの搬送

米沢の物流事業者②の声

- ・北関東周辺から米沢に戻る際も、これまで福島付近で休憩する必要がありましたが、**米沢まで来て休憩**することも考えられます。



■ 首都圏方面への搬送

米沢の電子部品製造業③の声

- ・勾配が緩やかになったので、**チェーンを巻かないで搬送が可能**になりました。**振動があると液晶ディスプレイが擦れ不良品発生にも繋がるため、今回の開通は大変有難い**です。



首都圏方面

約4時間3分
(8,430円※)

約3時間10分
(8,860円※)

※高速道路利用料（大型車、片道、通常料金）

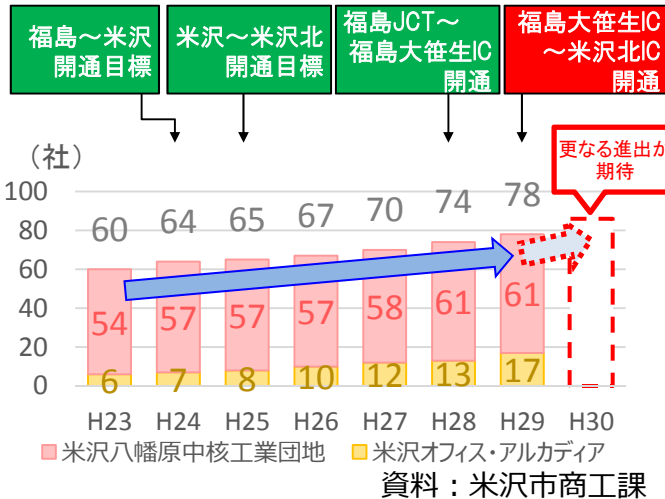
資料：H27道路交通センサス（混雑時旅行速度）

資料：物流事業者等ヒアリング調査（H30.2実施）

東北中央道沿線工業団地への企業立地

- 東北中央道沿線の米沢八幡原中核工業団地や米沢オフィス・アルカディアでは企業立地が年々進展。
- 企業立地や移転と共に、事業拡大や新規雇用も創出

■東北中央道沿線における企業立地状況



地域創生に向けた産学官連携施設を沿線に整備

山形大学、山形県、山形県産業技術振興機構、米沢市、米沢栄養大学が連携し、米沢オフィス・アルカディアに「有機材料システム事業化開発センター」を整備 (H30.3稼働予定)



山形新聞 (平成29年9月2日)



山形新聞 (平成29年7月19日)

- ・米沢オフィス・アルカディアへの移転は平成30年11月を予定しています。
- ・現在建物が2つに分かれており、1つの建物にして効率化を図ったうえで、新工場は現在よりも広くなるので、ラインを増設する予定です。



興機一有機エレクトロニクス事業化推進施設内に整備する。投資額は約50億円。蒸着マスはスマートフォンや有機ELディスプレイの製造に用い、画面となるガラス基板上に、緑色の有機材料を吹き付け、有機材料の吹き付けを自動化して生産する。国内の有機材料メーカーは少ないと見られ、国内の有機材料メーカーに生産委託する。国内の有機材料メーカーは少ないと見られ、国内の有機材料メーカーに生産委託する。国内の有機材料メーカーは少ないと見られ、国内の有機材料メーカーに生産委託する。



山形新聞 (平成30年2月7日)

資料：沿線事業者ヒアリング調査 (H30.2)

2. 今後の方針

■今回分析について

山形県への来訪者数の増加、圏域の拡大等、マクロな効果の把握を行ったもの。

■来年度の分析について

来年度は、観光振興に向けた具体的な取り組みに繋がる来訪者の観光動向など、より具体的な分析を実施。

- 観光流動に特化した分析(平日、休日別)
- 季節毎の流入状況・周遊状況の分析
- 居住地エリア別の県内来訪エリア・県内周遊状況の分析
- 日帰り、宿泊別来訪圏域の分析 など

■来年度分析を踏まえた取り組み方針について

観光動向を踏まえた、具体的なターゲットに対し山形県の魅力を首都圏等に対し売り込んで行く。